

ケガをした鳥

Q. ケガをした鳥をみつけた。どうしたらいい？

- A. どんな怪我ですか？怪我をした原因がわかりますか？明らかに交通事故や建物への衝突、ネズミ捕りシートに捕まったなどの原因で怪我をしてしまった場合は保護する必要があります。また怪我と言っても様々です。野鳥は基本的に歩行、飛行が可能でしたら保護する必要はありません。怪我の判断ができない場合は一度センターへご相談ください。

Q. 小鳥が粘着シートにくっついてしまった。

- A. 屋外に粘着シートを置いてしまうとそれにくっついている虫を食べに誤って小鳥が捕まってしまうことがあります。小鳥の骨は非常に細く折れやすいため絶対に無理にはがそうとしないでください。粘着剤がこれ以上鳥につかないように小麦粉などを粘着剤に振りかけてすぐ保護センターへ搬送をお願いします。鳥の羽の洗浄は羽の機能を損なわないようにするための専門的な知識が必要です。絶対にご家庭で洗わないでください。

Q. 家の窓ガラスに鳥がぶつかってしまった。

- A. 窓ガラスに映った空を本物と間違えてぶつかってしまうことがあります。強く頭を打ってしまうためしばらくぐったりして動けないことがあります。明らかに大きな骨折や出血がある場合はすぐ保護センターへの搬送をお願いします。特に外傷がなくぐったりしている場合はすぐに搬送するのではなく段ボールなどにいれて暖かくして1時間～3時間程度様子を見てください。もし回復して飛べるようならそのまま放してください。もし様態が変わらないようなら保護センターへご連絡ください。

何度も野鳥が同じ窓にぶつかる場合はバードセイバーなどで対策をしてみてください。

※バードセイバー：空や景色が映りこむガラス面にステッカーを貼ることで野鳥にガラスがあることを認識させ、衝突事故を減らそうというもの。

Q. 交通事故にあった鳥を発見した。

- A. ケガの様子はどのようなのでしょうか？ 当たり所によっては軽傷な場合もあります。もし獣類なら歩行、鳥類なら飛行が可能で小さな傷程度ならそっとしておきましょう。びっくりして動かないこともあります。その場合は道路の脇に移動して安全を確保してあげてください。もしかなりの重症な場合はお電話にて相談してください。場合によっては苦痛の軽減のため搬送しないほうがいい場合もあります。どのような状態でも自分で動くことができない場合は道路わきに移動してください。出血をしている場合はお互いの感染防止のために素手ではさわらないようにしてください。

Q. 農業用ネットに鳥が絡まっていた。

- A. もし外せそうなら顔に目隠しをしてそっと外してあげてください。外した後出血がなく飛ぶことができればそのまま放してください。出血や、飛ぶことができなくなっている場合は当センターまで搬送をお願いします。ネットがひどく絡まって外すことができない場合は鳥にタオルなどをまいてネットごと当センターまで搬送してください。ネットを外す際にははさみなどを使用する際ははさみで動物を傷つけないように、またすべてのネットがしっかり外れているか確認をお願いします。

Q. ケガをしていないけど弱っている動物を見つけた。

- A. 外傷がなくても感染症などの病気にかかっていることや、もともと体が弱い個体もいます。元気がない理由がわからない場合はできるだけかわらずそのままにしておいてください。野生動物は自分で病院に行くことができるわけではないので、じっとして耐えることで自然治癒するのを待っています。無理に捕まえることはそれ自体が大きなストレスとなり、命にかかわるといってもありますので、原因がわからない場合はできるだけそっと見守ってあげてください。駐車場や道路など人目に付きやすい所にいる場合はできるだけ素早く草陰や道路わきに移動してすぐその場を後にしてください。

